

2021年度の取り組み

信州上田学

『上田に学び、上田メソッドをつくる』

地域の方々によって創設された長野大学は、
地域貢献の先駆的大学として地域学の研究と教育に取り組んできました。

2017(平成29)年度から上田市の公立大学となり、
より一層地域貢献できる学びの体系として、
初年度から4年次まで地域課題の解決に取り組む地域協働型教育を推進しています。

21世紀社会は、市民・企業や行政を含む組織等が主体で活動・協働しつつ、
学生時代を含む次世代と一緒にあって創り出していくものです。

長野大学は学生が“地域で”、あるいは“地域と”実践的に地域課題と向き合う学び、
地域の皆様と協働する学びを実践します。

全国どここの地域においても求められる
地域課題解決の方法論「上田メソッド」をつくり、
上田から全国に広げていくことを目指します。

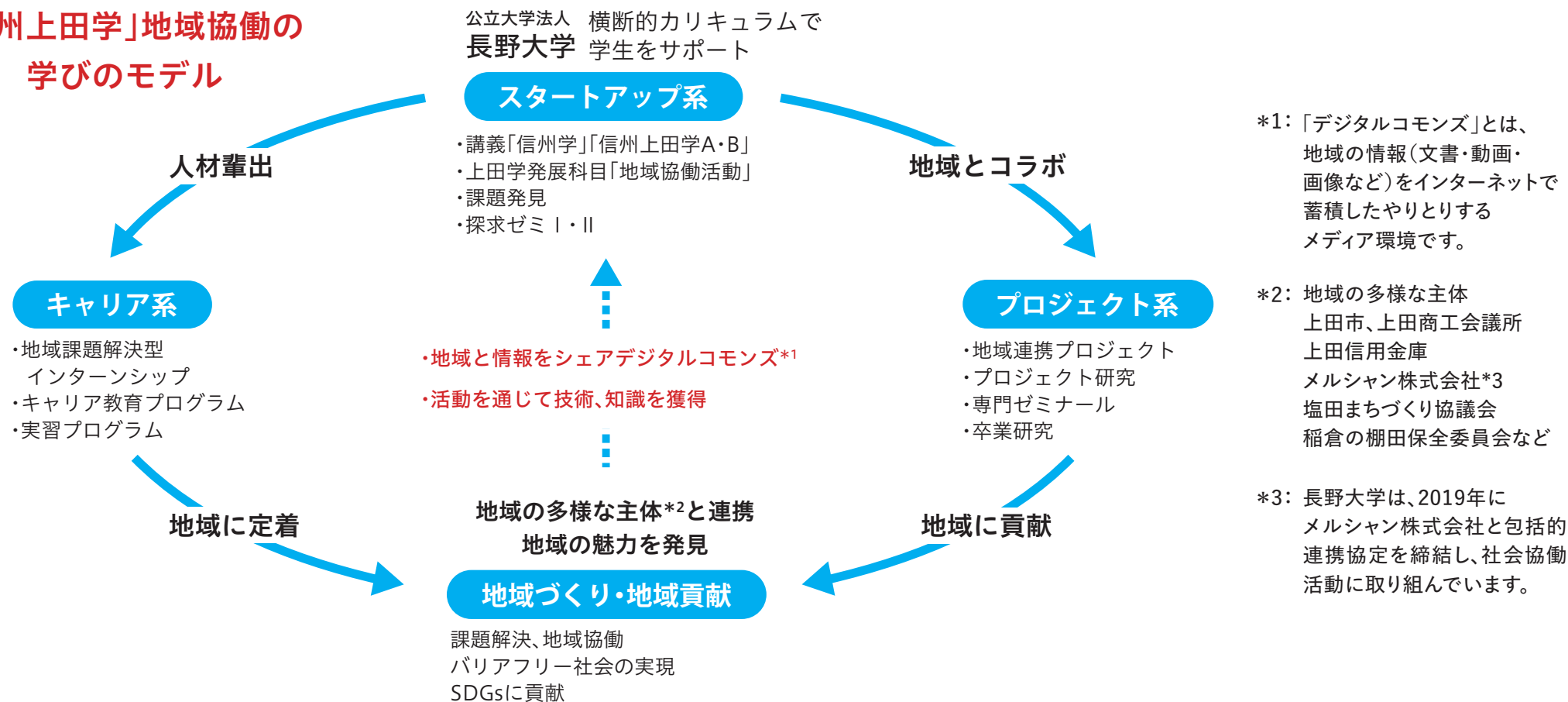


上田メソッド:「地域を上田に学ぶ」

地域協働の学びをととした地域課題解決の方法論である上田メソッドは、下図のような特徴をそなえています。

- ① 地域が丸ごとキャンパスとなり、学生の主体的・自発的な興味関心に基づき、学びのテーマを創造する。
- ② 地域の課題解決での学生と地域の多様な主体との協働活動をととして、生きた社会を学ぶ。
- ③ 地域の課題解決に求められる知識や技術を学生が主体的・複合的に獲得し、アイデアを創発する。

「信州上田学」地域協働の学びのモデル



地域課題解決の方法論として各地域で応用可能なモデルを目指す

2021年度事業概要

2019年から上田市と長野大学で連携して「信州上田学事業」を推進してきました。
3年目となる2021年度は、「**上田市との協働事業による取り組み**」「**長野大学独自事業による取り組み**」のふたつの側面から事業を推進してきました。

「信州上田学推進事業」 3年目の取り組み

2021年度の事業は、いずれも地域の魅力を発掘・紹介するものとなり、「信州上田学推進事業」の取り組みとして大変良いモデルケースとなりました。

前期

後期

年度末

上田市との協働事業

- 1 信州上田学デジタルcommons
- 2 情報発信共有事業
 - 地域史料のデジタルアーカイブ化
- 3 地域パートナー連携事業
 - 野倉別所地区里山アグロフォレストリー・プロジェクト
 - 塩田平のため池「舌喰池水鳥観察会」

※上田市との協働事業は通年での取り組み

長野大学独自事業

- 1 講義「信州上田学」
前期開講:「信州学」「信州上田学B」、後期開講:「信州上田学A」
- 2 地域協働活動
通年開講:「梔子ワイナリーを盛り上げよう」
「日本遺産ガイドコース」

まとめ

- 学びの成果発表会(2時間1分)



- プレスリリース・メディア取材
(事業内容・成果物)

- HP更新
信州上田学2021年度の取り組み



- 事業報告書の作成

上田市との協働事業



長野大学独自事業



信州上田学事業に関するお問い合わせは、下記の連絡先までお願いいたします。
renkei@nagano.ac.jp

信州上田学は、学生の学び成果をネットで共有し蓄積する「知識循環型」の学びを実践しています。



「みんなでつくる信州上田デジタルマップ」は、
信州上田学の学習支援環境となる情報共有ウェブサイトです。



2020年度
「上田学デジタルコモンズ」創設

参加者全員で作るデジタルアーカイブ

・登録なしに閲覧可能

・誰でも自由に投稿

投稿にはユーザー登録が必要です

新規ユーザー登録はこちらから→

無料でどなたでも
ご利用できます。



2021年度
機能追加・機能改善

サイトをより使いやすくするために

・ユーザーインターフェースの改善

・ユーザーが利用しやすくなる機能

(ハッシュタグキーワードとマッピング
機能追加)

上田市との協働事業 ②「情報発信共有事業」

今後、消失が懸念される上田地域の貴重な資料・道具などについてのデジタルアーカイブ化に取り組みました。

地域史料のデジタルアーカイブ化

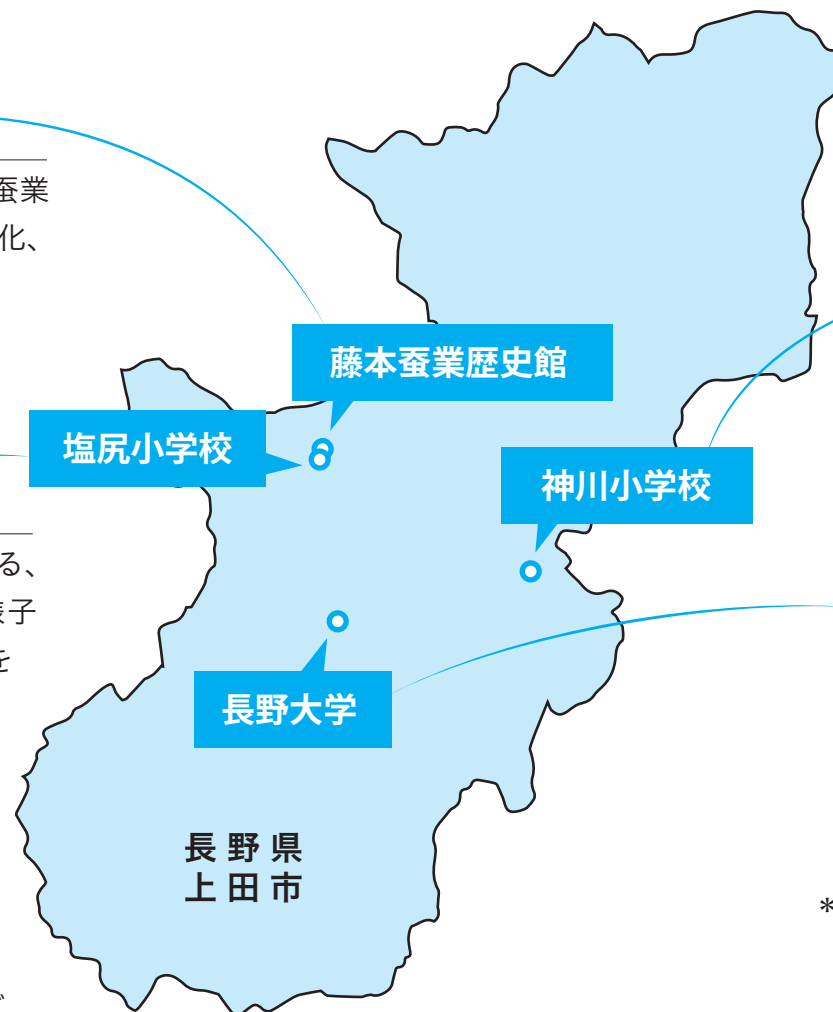
藤本蚕業デジタル資料館

上田地域でも蚕種製造の中心であった藤本蚕業にかかわる画像・文書をデジタルアーカイブ化、オンデマンド映像の作成

塩尻小学校デジタル資料館

塩尻小学校郷土資料館で保存展示されている、蚕種・養蚕にかかわる古い道具や、作業の様子を写した当時の写真など地域の貴重な資料をデジタルアーカイブ化

アーカイブデータは、信州上田学デジタルコモンズ「みんなでつくる信州上田デジタルマップ」に保存しました。
(前ページ参照)



デジタルアーカイブは、
関係機関と公開の範囲を調整のうえ、
2022年度に公開する予定です。

山本鼎の部屋アーカイブ

神川小学校の「山本鼎の部屋」で保存展示されている資料、児童自由画、またオンデマンド映像（インタビュー動画）をデジタルアーカイブ化

上田自由大学デジタル資料館

長野大学附属図書館に寄贈された「上田自由大学」*1に関する資料(山越脩蔵氏の遺族より寄贈)のデジタルアーカイブ化

*1: 「上田自由大学」(前身「信濃自由大学」)信濃自由大学は1921年に設立され、1924年に上田自由大学と改称されました。ここでは、資料を保管展示している長野大学附属図書館の表記に倣って「上田自由大学」と表記しています。

③地域パートナー連携事業

地域の様々な主体(団体、企業、人)と連携して、地域協働活動に取り組み地域に貢献していくことを目指します。

野倉別所地区里山アグロフォレストリー・プロジェクト

プロジェクトでは、長野大学と(一社)信州上田里山文化推進協会が連携して、長野大学の学生29名と地域の若者、移住者とともに、里山絵図を作成しました。

忘れられている里山の魅力ー里山の暮らしを伝える民俗資料館、里山の魅力を味わえるビューポイント、古道などウォーキングできる道、日本遺産*1に係る神社、道祖神などの歴史的遺産などを紹介しています。

*1:レイラインがつなぐ「太陽と大地の聖地」

～ 龍と生きるまち信州上田・塩田平 ～ (2020年日本遺産認定)

【里山絵図】



*アグロフォレストリー・プロジェクトとは



塩田平のため池「舌喰池水鳥観察会」

長野大学環境ツーリズム学部・里山再生学ゼミでは、2016年からの6年間、塩田平ため池群を利用する水鳥の調査・研究を行ってきました。

塩田平の中でも、池と植生の面積が広く、水鳥の種多様性が高い舌喰池に着目し、舌喰池で観察される水鳥・水生生物について紹介する看板(可動式)を制作しました。

地域の方々や観光客に、ため池のある地域の魅力を知っていただくことを目的とし、制作した看板は勉強会やイベントなどでも展示・貸出しをして活用していく予定です。

第1回水鳥観察会は、手塚地区の住民の方々を対象に2022年3月に開催しました。

【看板デザイン「舌喰池で観察される鳥類」】



*取り組み紹介



長野大学独自事業 講義「信州上田学」

2020年度まで、上田市からの補助金事業として開講されていた講義「信州上田学A・B」「信州学」について、2021年度は、長野大学の授業として開講されました。また、2020年度「信州上田学」発展セミナーとして開催された講座が、「地域協働活動」として通年開講されました。「地域協働活動」は信州上田学発展科目として位置づけられています。



① 講義信州上田学

講義「信州上田学」では、いずれも学生が主体的に課題に取り組み、課題解決に向き合い、フィールドワークなど参加体験型の学びを実践しました。

信州学 (前期開講)

『長野県の歴史・地理を学び、日本全体についても考える』

自然環境や産業、文化・歴史など長野県について幅広く学びました。履修生は、長野県内出身者が4割、県外出身者が6割を占めました。県外出身者にとって、長野県を知るうえで役立つ講義であり、県内出身者にとっても、生まれ育った地域について改めて学ぶ良い機会となりました。

信州上田学B (前期開講)

『フィールドワークから、五感で上田を学ぶ』

講義で、上田の歴史・地理を学びながら、各時代背景や特色・利点などを学びました。上田市内の神社や寺院、資料館や美術館、製糸場跡などを巡り、フィールドワークを実施しました。フィールドワークを通して、学生たちが地域の課題や問題点を抽出し、解決案を提言しました。

信州上田学A (後期開講)

『地域のテーマをキュレーション*』

フィールドワークでキュレーションテーマを探索、上田学デジタルコモンズ「信州上田デジタルマップ」に投稿した記事を学生が授業の中で発表しました。

学生一人一人が自分の目線で捉えた情報を可視化し、上田の魅力や課題、提言を伝えました。

*キュレーション：インターネット上の情報を収集しまとめること。



信州上田学B フィールドワーク



信州上田学A
学生によるキュレーション一覧



梔子ワイナリーブドウ収穫作業

② 地域協働活動 (通年開講)

地域の協働パートナーが提示する課題解決を目指した実践的な活動に取り組みました。地域活動の基礎学習から始まり、地域活動をおこなう地域や組織の調査、地域活動の目標設定、学生による企画づくり、体験的学習プログラムやインターンシップを経験しました。

「梔子ワイナリー を盛り上げよう」

学生たちが、梔子ワイナリーのにぎわい創出のための企画づくり(ワークショップ)やインターンシップを体験しました。地域イベント「梔子マルシェ」などの企画づくりを通じて、地域とともに歩む協働先の企業理念や地域の課題を学び、地域を活性化させるアイデアを学生グループで提案しました。

「日本遺産 ガイドコース」

塩田平ボランティアガイドの会と塩田平民話研究会の方々との協働活動です。塩田平の歴史・民話・文化財などについて学習し、構成文化財へ足を運び、日本遺産の観光地としての課題を分析しました。塩田平ボランティアガイドの会の皆様と意見交換をしながら、学生たちがそれぞれの視点で、ガイドプランを企画し、塩田平ボランティアガイドの会に提案しました。



日本遺産 ガイドプラン意見交換会

長野大学「信州上田学」の取り組みは、本学の「長野大学VISION」や

「中期計画」に掲げられています。

これにより、本学は上田市の公立大学として、学園都市上田の中核を担い、
地域の多様な主体との連携をととして、地域貢献していくことを目指しています。

本学では、信州上田学を推進する地域のパートナー（地域団体、企業、人材）を
求めています。

長野大学地域づくり総合センターは、その連携をコーディネートします。

公立大学法人

長野大学 地域づくり総合センター



〒386-1298 長野県上田市下之郷 658-1

9号館1階 附属図書館内

TEL：0268-39-0007

E-mail：renkei@nagano.ac.jp

長野大学のHP



長野大学VISION

